



# 2025年12月期通期 個人投資家向け補足資料

---

株式会社メンタルヘルステクノロジーズ  
(東証グロース市場：9218)

2026年2月13日

# Executive Summary

## 2025年12月期 通期決算ハイライト

過去最高の売上高・営業利益を達成、創業以来初の配当を実施予定



### 通期決算

連結売上高

前年比  
+25.3%

64.3億円

連結営業利益

前年比  
+445.6%

5.9億円

3Qで予算の下方修正を実施も成長エンジンのMHS・MWS事業が着実に成長し収益基盤の安定化により、過去最高業績を達成



### セグメント概況

#### MHS事業

新規ENT契約：223グループ(同+23.2%)と大幅増加  
月次平均解約率：0.3%（半減）と改善  
戦略：管掌取締役の陣頭指揮のもと、新規顧客開拓とアップセルを最優先。営業組織の体制見直しにより案件遅延がありつつも着実に進展

#### MWS事業

状況：新規は入札案件中心。高単価・高利益率案件は「種まき段階」。関係性価値構築を目的に経験者採用を進める  
過大対策：現業社員の処遇改善（原価上昇）に対し診療報酬改定を契機とした価格転嫁を交渉中

#### その他事業

組織変更：医師人材紹介(旧MCS)は規模を縮小し、ハブ機能として主要事業と連携。ビジネスインキュベーション(旧DM)は新規事業とG内マーケティング支援に特化



### 株主還元

配当

創業以来初

1株あたり 10.00円

成長投資と株主還元の両立が可能との見通しに基づき予想据え置き

株主優待

新設

株主優待制度導入により、想定以上に株主数が増加。想定費用が約8千万円超過して着地（株主層の拡大に成功）

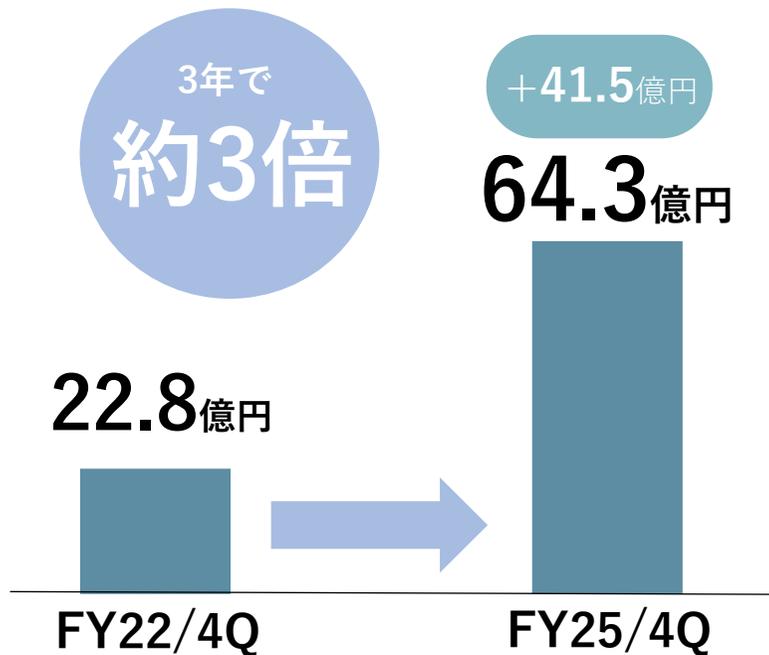
# Mental Health Technologies

## 1. 2025年12月期通期 決算概要

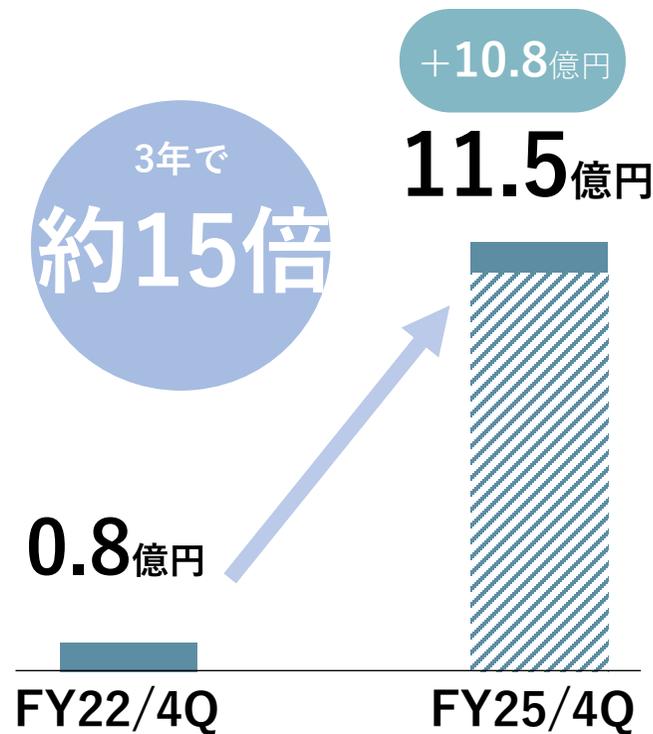
大幅な成長が継続、主要事業は収益拡大

2025年度通期は、売上高・利益ともに過去最高を更新し、上場後も順調に事業拡大しています。MHS事業（産業医クラウド）の収益力伸長に加え、第2の柱であるMWS事業（看護助手派遣サービス）が通期で寄与し、成長加速の原動力となっています。

### 連結売上高<sup>1)</sup>



### 主要セグメント利益<sup>2)</sup>

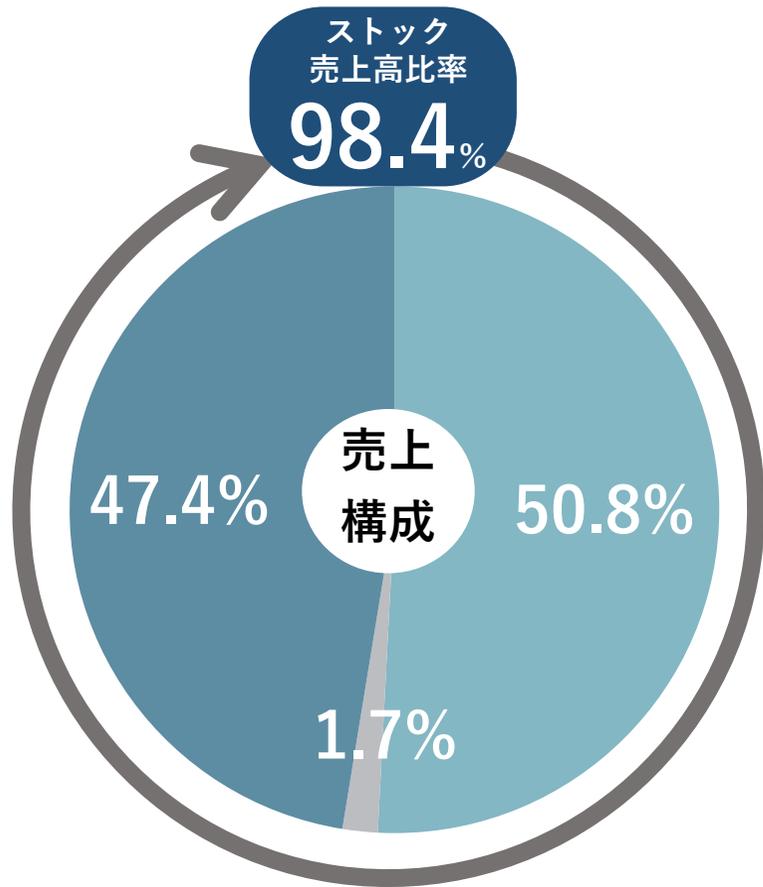


1) MWS事業は2024年2月にM&Aにより当社子会社となり、同年3月から連結決算の対象となりました。

2) 主要セグメントはMHS事業とMWS事業です。MCS事業・DM事業は重要性が低下したため、その他セグメントに区分しています。

## 2.事業セグメント

当社の事業は、成長が継続する「メンタルヘルスソリューション（MHS）事業」と、M&Aにより子会社化したタスクフォース社が展開する「メディカルワークシフト（MWS）事業」の二本柱で構成されています。



### メンタルヘルスソリューション（MHS）事業

産業医や産業保健師による役務提供に加え、クラウド型メンタルヘルスケアサービス「ELPIS」を組み合わせた、企業向けのBPaaS型サービスです。解約率の低さによる安定性と高収益性を備えたストック収益モデルが特長です。

### メディカルワークシフト（MWS）事業

大規模な急性期病院に対し、看護助手等を派遣しています。現場にはリーダーをサポートとして配置し、運用改善や定着支援を通じて業務効率化に貢献しています。M&Aにより加わった新規事業として、全社の成長加速を牽引しています。

MHS 事業

MWS 事業

その他 事業

# MHS事業（産業医クラウド）の成長構造

## 売上高の成長



新規顧客数の着実な増加と、大手企業との取引拡大が顧客単価の向上が相乗効果を生み、安定した売上成長を支えています。特に解約率の低さはサービスへの高い満足度とストック型収益の安定性を示すものであり、長期的な成長の土台となります。

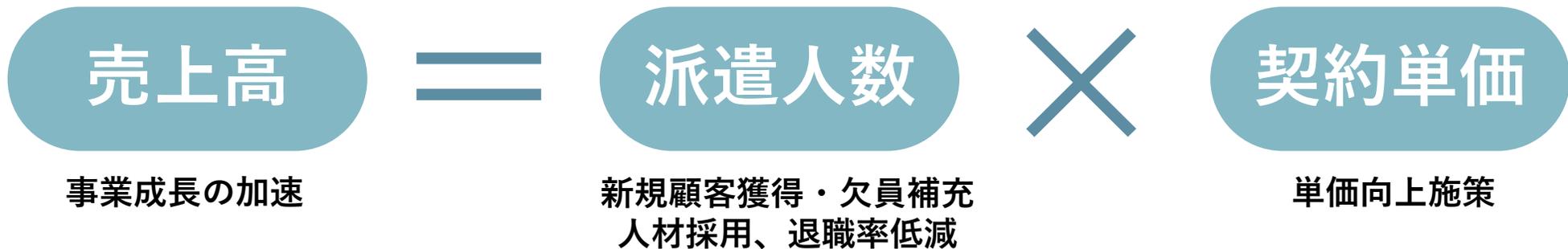
## 収益率改善



利益率の改善には、売上高の成長に加え、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による原価および販管費の改善と最適化が重要です。産業医の労働生産性向上を支援することで、省人化・効率化が進展、売上高に対する利益の割合が高まり、収益性が向上します。

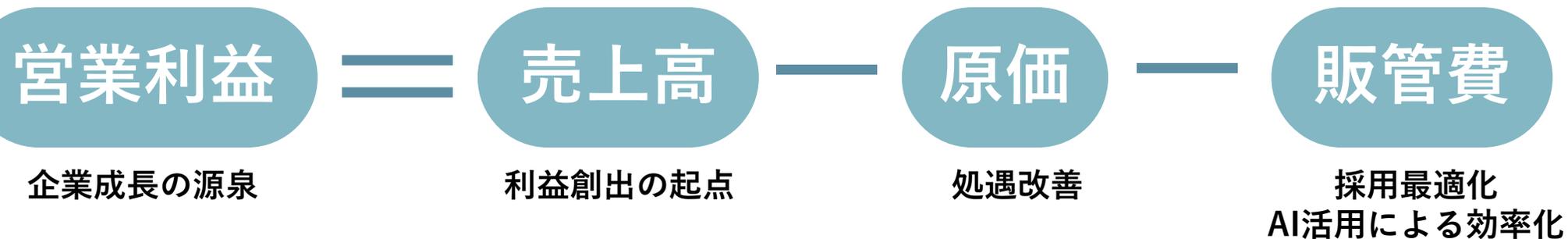
# MWS事業（看護助手派遣サービス）の成長構造

## 売上高の成長



新規医療機関の獲得に加え、既存取引先への迅速な増員・欠員補充や契約単価交渉を行うことが求められます。同時に、医療機関との関係性価値を高めながら人材確保を進め、採用費用の最適化や退職率低下によって派遣人数の拡大を図ります。これらの取組みが安定した売上成長を支えています。

## 収益率改善



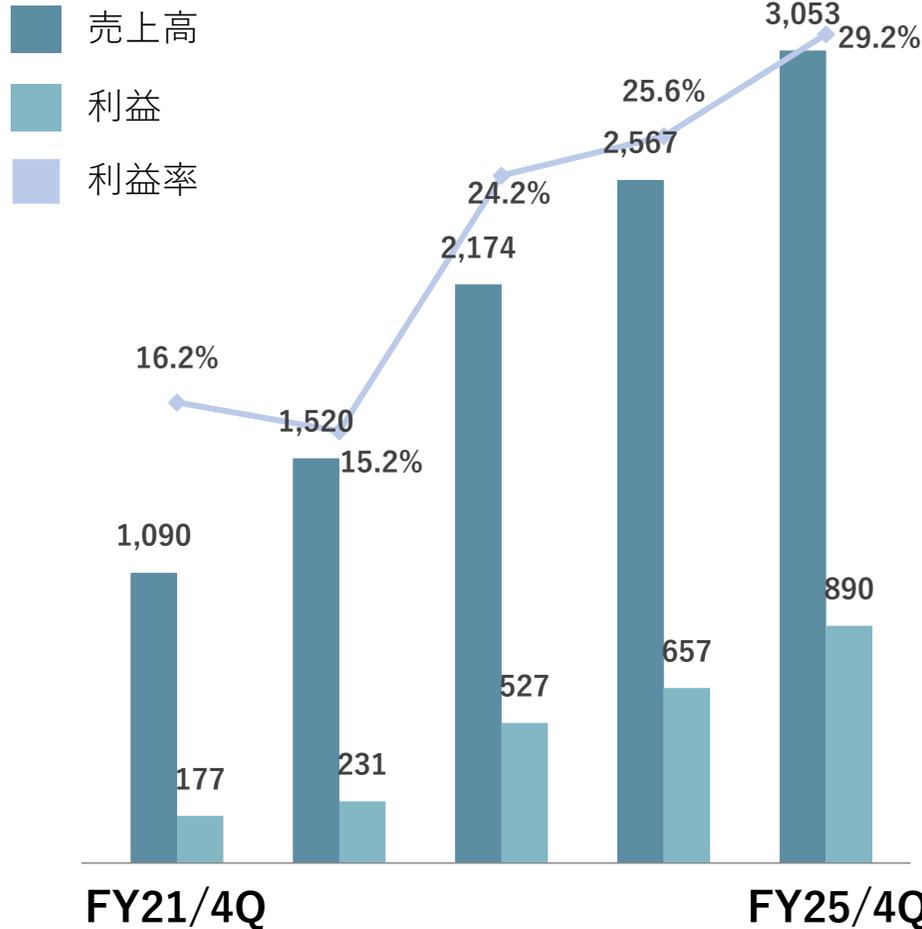
利益率を高めるには、売上高の成長に加え、採用力を強化による費用最適化が不可欠です。人材確保を目的とした処遇改善で人件費は増加しますが、定着率の向上が募集コスト低減につながり、効率化を実現します。また、昇給に伴う契約単価の引き上げ交渉により、収益性を維持しています。

# 3. MHS事業: 成長推移KPI

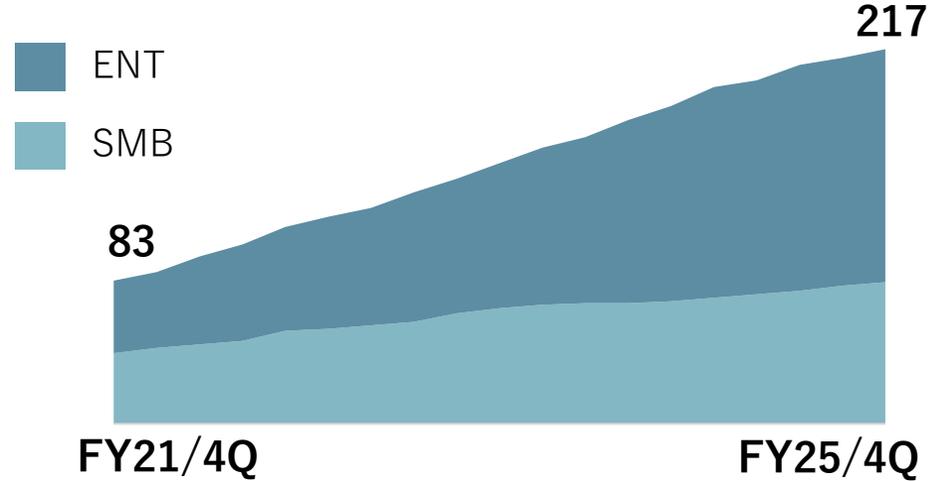
MHS事業は、力強い成長を継続しています。売上高および利益は大幅に増加し、特にセグメント利益率は3.6%伸長しています。

MHS事業の強みは、安定性の高いストック型収益と、極めて低い解約率にあります。これはサービスへの高い満足度を反映しています。

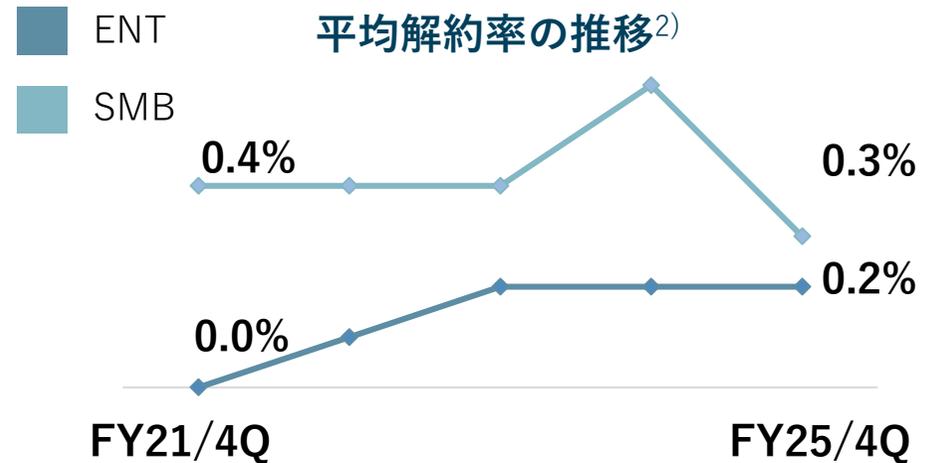
### MHS事業の成長推移<sup>1)</sup>



### 継続課金収益の月別推移<sup>2)</sup>



### 平均解約率の推移<sup>2)</sup>



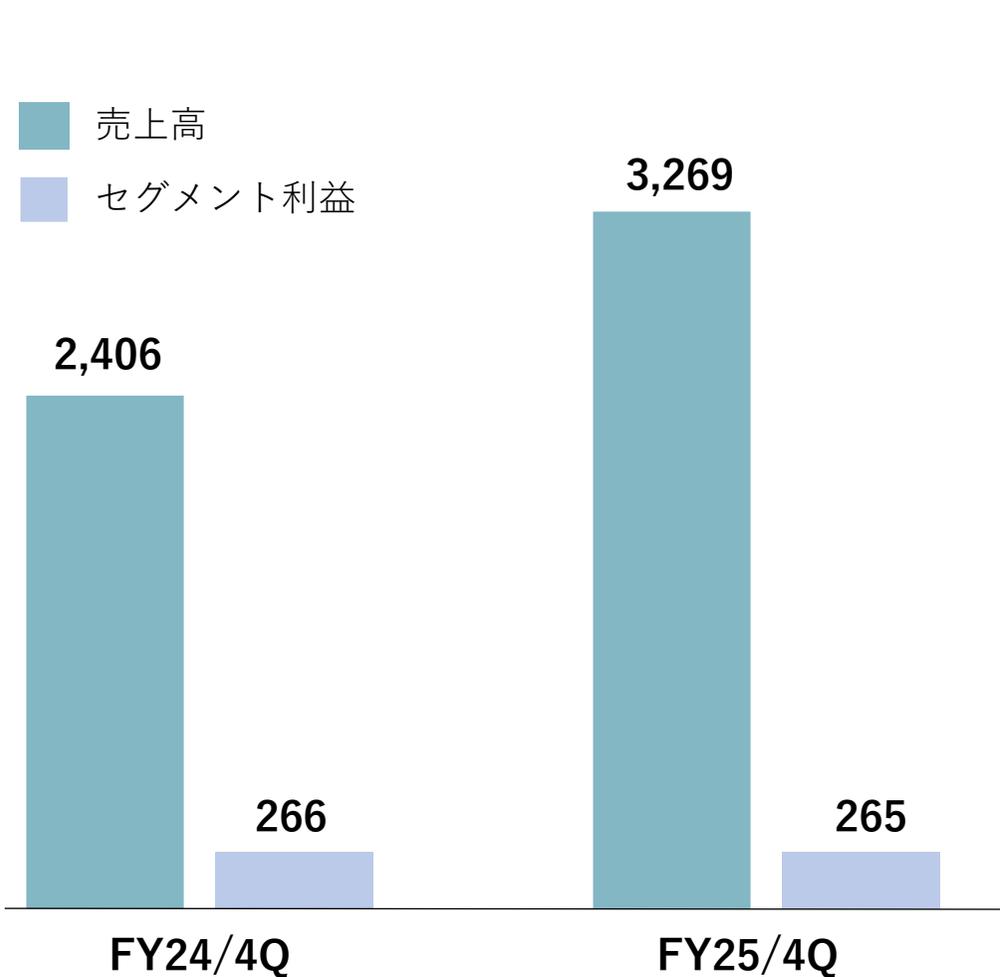
1) 業績については、ヘルスケアDX、明照会労働衛生コンサルタント事務所及びみらい産業医事務所の数値を含む

2) KPIは、Avenirが提供する「産業医クラウド」の数値をもとに算出（明照会労働衛生コンサルタント事務所、みらい産業医事務所の数値は除く）

## 4. MWS事業: M&Aによる飛躍

タスクフォース社のM&Aによる子会社化で新たな主力事業となったMWS事業が売上高に大きく貢献しています。先行投資（現業社員の処遇改善）により利益率は低下しましたが値上げ交渉による改善を図っています。

これまでに3社をM&Aにより子会社化し、事業規模の拡大を行ってきました。また、2026年3月にインクルード社が当社グループに加わる予定です。これからもM&Aを通じた事業拡大を推進していく予定です。



2022年12月

明照会労働衛生  
コンサルタント事務所  
(産業保健事業)

2024年2月

タスクフォース  
(医療人材サービス)

2024年12月

みらい産業医事務所  
(産業保健事業)

新たにグループイン

2026年3月

インクルード  
(リワーク事業)

## 4. MWS事業: M&Aによる飛躍

### 株式取得の概要

#### インクルード株式会社

対象会社

認知症予防のための脳トレーニングジムの開業後、そのノウハウを活かして、主に障害福祉サービスの「自立訓練（生活訓練）」「就労移行支援」の枠組みを活用した復職支援サービスを提供

取得価額

5.9億円

譲渡形式

現金による普通株式100%取得

資金調達

みずほ銀行から取得価額全額を調達予定

スケジュール

2026年3月31日 クロージング予定

## 5-1. 株主還元（株主優待制度）

株主還元の一環として、2025年12月末日時点の株主を対象に、CSRの視点を取り入れた株主優待制度を導入します。企業価値の中長期的向上と持続的な関係構築により、株主層の拡大と株主構成の安定化を目指します。

### 株主優待の概要

2025年12月末を初回基準日とした「デジタルギフト®」の進呈に加え、希望者を対象とした当社グループ一部サービスのご利用権を進呈します。

保有株数	保有期間	内容
2単元(200株)以上	1年未満	デジタルギフト 10,000円
	1年以上	デジタルギフト 13,000円 2025年12月末を初回基準日とし、保有期間に関係なく一律10,000円分の「デジタルギフト®」を進呈。 2026年12月末以降は、1年以上の継続保有（※）を条件に13,000円分を贈呈。 ※2025年12月末を初回とし、以降の6月末・12月末の名簿に同一株主番号で3回以上連続記載されること
① デジタルギフト		• 電子マネー・ポイント・ギフトカード・暗号資産 Amazonギフトカード、PayPay、dポイント、楽天ポイント、ビットコインをはじめ、幅広いラインナップからの選択可能
		• 寄付（現在は恵寿総合病院等、今後ナショナルセンター等へ順次拡大予定） 地域医療復興支援として寄付の選択が可能。当社名義で一括寄付を行うため、株主様ご自身の寄付金控除の対象外
② 当社サービス		ケアーズLite（産業医資格を持つ専門医等に、仕事や家族・健康の悩みを24時間いつでも相談できるメール窓口サービス）

※株主優待の詳細は、2025年8月14日付「株主優待制度の新設」および同年12月12日付「株主優待品の内容決定」に関する開示資料を参照

## 5-2. 株主還元（配当）

安定的な収益基盤の確立に基づき、3Q公表の通り初配（10円）の実施を予定しております。株主優待制度と配当による直接還元を組み合わせることで、個人株主層のさらなる拡大と機関投資家への還元を推進してまいります。

### 配当予想の内容（2025年12月期末）

	1株あたり配当金（円）		
基準日	第2四半期期末	期末	合計
期首予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
<b>直近予想</b> (2025年11月14日発表分)	—	<b>10円00銭</b>	<b>10円00銭</b>
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

※ 配当予想の詳細については2025年11月14日 開示資料「2025年12月期（第15期）配当予想の修正（初配）に関するお知らせ」を参照

## 6. 2025年12月期 通期業績

更なる成長に向けて社員一丸となって邁進しております。  
引き続き、両事業の強みを活かし、企業価値の向上に努めてまいります。

連結売上高

64.3億円

前年同期対比 +13.0億円

調整後連結営業利益

7.3億円

前年同期対比 +5.1億円

